

2011年度 株式会社朝日自然観

安全報告書



 **Asahi**自然観Snow Park

この報告は鉄道事業法第9条の4(鉄道事業者による安全報告の公表)に基づき、輸送の安全を確保するために講じた措置及び講じようとする措置その他輸送の安全にかかわる情報を公表するものです。

1 利用者の皆様へ

株式会社朝日自然観の索道事業(リフト運行)に対しまして、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社は、安全の確保を経営理念の第一に掲げ安全輸送に勤めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社朝日自然観

代表取締役社長 鈴木浩幸

2 基本方針と安全目標

I 基本方針

安全第一の意識を持って索道事業活動を行える体制の整備に努め、『安全基本方針』を次のように掲げ、社長以下スキー場関係者、従事員に周知、徹底しております。

- (1) 一致団結して輸送の安全の確保に努める。
- (2) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- (3) 業務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いを行う。
- (4) 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (5) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

II 安全目標

輸送安全目標を次のように掲げ取り組んでいます。

- (1) 安全輸送の確保に努め、事故発生ゼロを目指します。
- (2) 日常の点検により設備不具合による事故を未然に防ぎ、万が一事故が発生した場合でも迅速的確な対応を行えるようにします。
- (3) 日々ミーティングを行い、重要事項の確認を行い安全輸送に取り組めます。

3 事故発生状況とその再発防止処置

(1)安全運転事故（索道人身障害事故）

2010年度 0件

(2)災害（地震や暴風雨、豪雪等）

2010年度 0件

(3)インシデント（事故の兆候）

2010年度 0件

(4)行政指導

2010年度 無し

4 輸送の安全確保のための取り組み

I 人材教育

(1) 安全に関する勉強会をシーズン営業開始前に実施し、スキー場に従事する職員が参加しました。

(2) 日々ミーティングの中で、安全運行に関する提案、改善点などの話し合いの場を設けています。

II 緊急対応訓練

シーズン営業開始前に索道係員、スキー場パトロール隊と合同で、索道救助訓練及びケガに対応する救急法を実施しました。

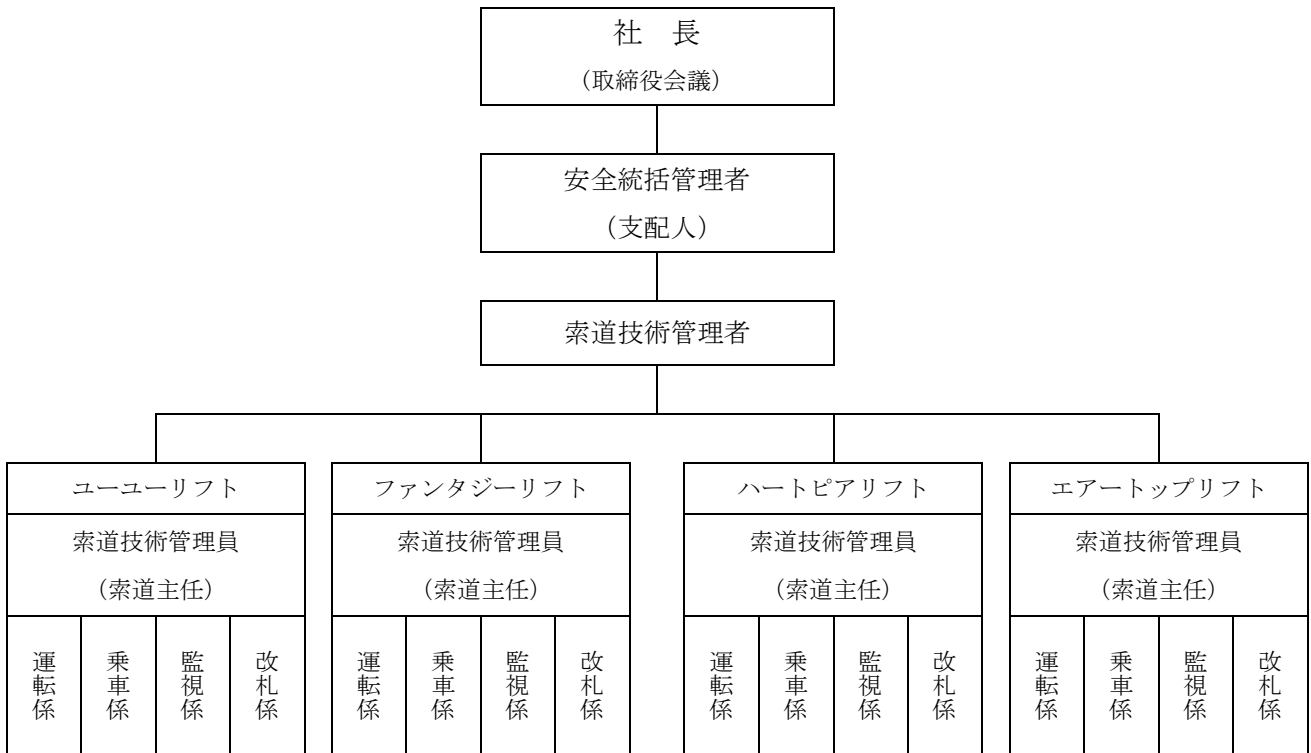


Ⅲ 安全のための投資

安全の維持向上のため年度前に整備計画をたて、各施設の修繕及び設備更新を行い、またその都度各施設の保守点検を行っております。

- (1) 全リフトの振動測定検査、油脂成分検査（主原動機、減速機、原動滑車軸、折返滑車軸）
- (2) ファンタジーリフトの支えい索交換、搬器検出用近接スイッチ交換、乗車規制用プリセットカウンター交換、索道支障木伐採工事
- (3) ユーユーリフトの搬器検出用近接スイッチ交換、油圧緊張ユニット用冷却ファン交換
- (4) エアートップリフトの山頂ステージ板張替、乗車規制用プリセットカウンター交換、索道支障木伐採工事

5 当社の安全管理体制



6 利用者の皆様との連携とお願い

I 利用者の皆様からのご意見募集

より安全で信頼される索道をつくるため皆様からご意見を募集し、役立てていきます。

II 利用者の皆様へのお願い

リフト乗車時の注意事項

- (1) 乗り方に慣れないお客様は、係員にそのことを申し出て下さい。
- (2) 空き缶、煙草の吸殻、その他の物品を、乗っているリフトから投げ捨てないで下さい。
- (3) 搬器から飛び降りたり、搬器を揺らさないで下さい。
- (4) 衣類、携帯品、髪の毛などが施設に巻きつかないように注意して下さい。
- (5) 改札後は係員の指示に従って下さい。

III 表彰

2008年度に東北運輸局長より、無事故事業者表彰を頂くことができました。

《ご連絡先》

〒990-1574 山形県西村山郡朝日町白倉745-1 株式会社 朝日自然観
電話 0237-83-7111 (代) FAX 0237-83-7112